

議 事 録

公開 一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和6年11月8日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 福祉課福祉推進係
					職・氏名 主任 翠川達也 印

会議等の名称	令和6年度 第3回東御市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会	開催日時	令和6年11月1日（金） 午前10時30分～午前12時00分
		場 所	総合福祉センター3階 講堂
主催者(事務局)	健康福祉部・保育課・社会福祉協議会	司会者	掛川福祉課長
出席者	【委員】荒井昭成、松本幸子、射手幸平、阿部貴代枝、瀬田智之、塩崎和男、小山美佐子、 岩佐淳、丸山和、清水八重子、高橋美也子、小林峯雄、矢島未保、小池道子、岡田佳澄、矢野亮 【事務局】（市）寺田部長、掛川課長、中澤係長、渡邊係長、堀係長、田中（朋）係長、柳澤係長 笹井係長、大塚係長、塩入係長、小林係長、池田補佐（代理）、翠川主任 （社協）田中（喜）次長、小野主査		
欠席者	【委員】なし		
	【事務局】（社協）高岡局長、佐藤係長		

議 題	(議題) (配布資料) (1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画素案について 別紙資料1 (2) 次回開催日について	
決定事項 (要点を簡条書き)	・12月にパブリックコメントを実施する	
次回への検討事項	・第4回策定委員会では、パブリックコメントの意見を反映させた素案を提示する。	
次回開催	令和6年2月上旬（予定）	(場所) 総合福祉センター（予定）

討議内容	発言者名	発言内容（要点のみ記載）
1 開会	松本副会長	開会。
2 あいさつ	荒井会長	荒井会長よりあいさつ。
3 議事 （1）地域福祉計画・地域福祉活動計画の素案について	事務局	別紙資料1の内容をもとに、第5次東御市地域福祉計画・地域福祉活動計画の素案からの修正部分について説明。
	阿部委員	・8050問題等の当事者に対して空想の計画ではなく、実行性のある計画にしてほしい。コミュニティソーシャルワーカーを地域づくりと合体させて、地域に出ていきやすい環境づくりを設定してほしい。 ・ボッチャを毎週地域で行っているが経験者のみが集まるようになっていく。地域づくりの一環としては、初心者が集まりやすい状況になってほしい。
	事務局	・社協のコミュニティソーシャルワーカーは、行政区で行っている事の延長で5地区での担当制を検討している。地域になじめるような活動を引き続き行っています。 ・社協は地域づくりの一環としてボッチャを行っている。初心者への取り組みを検討していきます。
	小山委員	・福祉教育に人が亡くなることについての文面を入れてほしい。 ・民生委員、児童委員の担い手や育成をどう捉えているのか。研修会はいいことだが、知識を地域に活かす方法を考えたい。 ・資料21Pのどすこいサポーターについて、目標値となる人数は増やした方がよいのではないか。
	事務局	・人が亡くなる事への内容については、取り入れる方向で検討します。 ・民生委員、児童委員については地域へのつなぎ役、橋渡し役としての役割を円滑に行えるような支援体制整備を行っていきます。 ・地域で活躍する住民を増やすために住民指導者介護予防養成講座を開催している。人材育成の講座となり全員がサポーターになるわけではないため、人数に関しては目安となっている。
	岡田委員	・資料18Pの福祉教育は、教育現場ではパラスポーツを通じた教育を行っている。保育園ではどのような取り組みを行っているのか。 ・資料21Pの地域づくり支援員とコミュニティソーシャルワーカーの違いはなにか。 ・資料28Pの見守り支援員と子育てサポーターの違いはなにか。
	事務局	・市での保育園に係る福祉教育は内容を含めて検討中です。社協は体験を通じた教育を実施しています。具体的には、障がいをもった方の「できないこと探し」ではなく、「できること探し」を行うことなどを行っています。 ・地域づくり支援員は地域課題全般の解決を行っています。コミュニティソーシャルワーカーは福祉に特化した地域課題の解決を行います。福祉を推進するためにコミュニティソーシャルワーカーを設置しますが、地域づくり支援員とともに福祉を推進できるように、今後の5年間の間で調整していきます。 ・見守り支援員は「見守り支援事業」の中で、児童の学習支援に加えて、子どもの見守りのため第三の居場所や各家庭への訪問等を行っています。子育て支援サポーター養成講座を終了した人の中から、見守り支援員として登録される人材の育成を図っています。
	小林委員	・資料19Pのシニアクラブ連合会や単位クラブへの支援や助成を行ってくれることはありがたい。シニアクラブの活動する場所や機会を増やしてほしい。 ・資料19Pの社協が子どもたちや幅広い世代を含めた福祉の推進体制作りはよいことだと思う。実施する際には周知を行う必要があるのではないか。
	事務局	・シニアクラブ連合会や単位クラブの助成は引き続き継続し行います。今後活動の場所や機会の創出に関してはお願いする場面があるかと思います。 ・来てくださると周知するだけでは参加が難しい場合がある。一般の人が福祉に触れる機会が大事なため、周知の方法についても検討していきます。また、地域福祉懇談会では顔を合わせる機会にもなるため、参加率を上げるような取り組みを行っていきます。

(2) その他	高橋委員	・ボッチャの大会では、他市がいろいろな課を含めてチームを組んで参加していた。東御市も他課の人も含めて福祉を感じていただきたいため、チームを作った方がよいのではないかと感じました。
	清水委員	一般市民や子どもが懇談会等に参加できる方はよいが、外との交流がない方、外にでられない人への支援を充実させてほしい。IT化の課題もあるが、高齢者の方が家にいながら気軽に相談できる機会を創出してほしい。
	小池委員	・資料28Pの子育て世帯への支援体制の満足度についての数字はどのようにだしているのか。 ・第三の居場所の現状の利用者数、見守り支援員の活動状況はどうなっているか。 ・第三の居場所のようなものを北御牧でも実施できないか。
	事務局	・市民アンケートで項目ごとに満足度の回答があります。回答した12項目のうち、子育て世帯への支援体制を満足と答えた方の割合をだしています。 ・登録児童数は8月末時点で34名、利用者数は4-9月末まで1,124人が利用しています。見守り支援員は学習支援や訪問等を行っています。 ・子どもの居場所づくりを地域の方と行っているため、北御牧地区でも同様な支援は行っていきたいが、補助金がないとできない事業もあるため、市とも検討していきたい。
	矢野教授	・コミュニティソーシャルワーカーは保育や学校等の公的機関との連携を図った方がよい。 ・実際に解決した事例やケースを計画に載せるなどすると、相談しやすくなるのではないか。 ・福祉教育の話もあったが、スクールソーシャルワーカーとの連携はとり入れないのか。
	事務局	・コミュニティソーシャルワーカーは、地域課題を関係機関と連携しながら解決していく予定です。また、5地区の担当同士が課題を共有し合って連携できるようにも検討しています。 ・過去の事例をあたって、載せやすいケースについては検討したい。 ・スクールソーシャルワーカーについては福祉教育との関連も含めて検討します。
	阿部委員	表紙（案）を楽しそうに編み物をしている絵に変更できれば変えてほしい。
4 その他	荒井会長	その他にご意見がなければ、本日用意いただきました協議事項の方は全て終わりました。
	掛川課長	事務局から連絡事項についてお願いします。
	事務局	第4回策定委員会は、2月上旬頃の開催を検討中です。その際には今回いただいた案に加えて、12月に実施予定のパブリックコメントの意見を反映させた素案を作成して委員の皆さまにご意見をいただきたいと思います。日程は決まり次第、通知文にてご連絡いたします。
5 閉会	掛川課長	皆さま方から何かあればお願いします。 ないようですので、本日予定していました議事事項等は全て終了いたしました。
	松本副会長	閉会。